

「田辺製薬契約研究員、苗登明(みょうとうめい)さんの過労死高裁」傍聴報告

3月9日、大阪高裁81号法廷で行なわれた田辺製薬契約研究員苗さん過労死裁判を傍聴した。傍聴者約20名(中国領事館からの2人を含む)。10:00から10分程度で、提出書面の確認と苗夫人の意見陳述が主であった。意見陳述は裁判経緯の他に、民事の和解判決や中国領事館の協力も盛り込まれていた。

これで弁論は終結し、判決は5月13日(木)13:10となった。

閉廷後の報告集会はプロボノセンターで行われた。

- ・ 最初に、3/1に逝去された支援する会役員・村田敏史様の冥福を祈って黙祷を捧げた。
- ・ 提出した署名は計5,888筆で、目標10,000筆に近づけるため、4月9日までに引き続き集める。更に、裁判官への要請ハガキ(4,000枚準備)を事務局に送る。
- ・ 弁護士から、判決の1ヶ月前くらいに裁判官が結論を出すので、4月9日に向けた署名、要請ハガキ運動は効果的であるとの励ましがりました。和解判決は2月3日付産経新聞がスクープ報道「田辺製薬中国人研究員の過労死訴訟が和解」したとのことでした。
- ・ 苗夫人は家族の会、科学者会議、全薬会議のネットワークに感謝し、今日はサンキューの日ですとダジャレを披露され、爽やかな笑いを誘いました。

私見：苗夫人を始め多くの支援する人々と何度もお会いしたので、随分昔からのお付き合いのような錯覚を感じました。これも故人のお引き合わせでしょうか。(鈴木記)